

第1回信州脳塞栓症治療研究会

謹啓 時下先生におかれましては益々ご健勝の事とお喜び申し上げます。

さてこの度、我が国において脳塞栓症に対する「Drip, Ship & Retrieve」体制を構築されている岐阜大学脳神経外科の吉村紳一先生をお招きして、第1回研究会を開催させていただき運びとなりました。ご多忙の折り恐縮ではございますが、奮ってのご参加をお願い申し上げます。

謹白

記

変更となりました

日時：平成25年7月5日（金） 18：30～20：30

場所：信州大学医学部附属病院 外来棟4階 大会議室

（信州大学医学部附属病院入り口より入った建物の4階です）

<特別講演> 18：30～19：30

司会 堀内 哲吉（信州大学医学部 脳神経外科学講座 准教授）

「脳を救え！ 急性期血管内治療と新たな連携システム」

岐阜大学医学部脳神経外科学講座 臨床教授

吉村 紳一 先生

<パネルディスカッション> 19：30～20：30

司会 長島 久（信州大学医学部附属病院 脳血管内治療センター センター長）

「ドクターヘリを活用した急性期脳塞栓症治療の可能性」

話題提供： 岩下 具美（信州大学医学部 救急集中治療学講座 准教授）

パネリスト：JA長野厚生連佐久総合病院 救命救急センター 岡田 邦彦 先生

長野市民病院 脳神経外科 草野 義和 先生

社会医療法人財団慈泉会 相澤病院 脳神経外科 北澤 和夫 先生

伊那中央病院 神経内科 清水 雄策 先生

「信州脳塞栓症治療研究会」について

心原性脳塞栓症に対してはアルテプラゼ（rt-PA）静注による再開通療法が第一選択ですが、著効例は限られているのが現状です。rt-PA 静注療法の適応外・無効例に対しては開頭あるいは経カテーテル的血栓除去術が行われていますが、これらの治療が常に実施可能な環境の整備は困難であり、米国等においては rt-PA 静注療法後に基幹病院に搬送する「Drip & Ship」が試みられております。本研究会は、広大な県土と多くの山岳を持つ長野県における脳塞栓症治療成績の向上を目指して設立されました。

共催：信州脳塞栓症治療研究会、株式会社メディコスヒラタ

※ 終了後に情報交換会をご用意しております